

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

I 概要

検査内容	胃内視鏡検査
対象者	<p>満 50 歳以上（今年の誕生日で偶数年齢の方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 同一年に胃がん検診（胃部エックス線検査）を受診していない方。 ➤ 胃内視鏡検査を受診した翌年は、胃部エックス線検査を受診できない。
除外者	<p>(1) 抗血栓薬を内服中の者。※1</p> <p>(2) 消化性潰瘍などの胃疾患で通院中の者(ピロリ除菌中の者を含む)。※2</p> <p>(3) 自覚症状のある者。</p> <p>(4) 胃全摘術後の者。※3</p> <p>(5) 胃内視鏡検査に関して、同意書の取得ができない者。</p> <p>(6) 妊娠中または妊娠の可能性のある者。</p> <p>※1 抗血栓薬については、別紙抗血小板薬一覧表を参照する。服薬状況については、必ずお薬手帳を確認する。</p> <p>※2 ピロリ菌除菌後は、除菌後の年数にかかわらず対象とする。</p> <p>※3 胃部分摘除後、経過観察中以外は症状がなければ対象とする。</p> <p>下記内容に該当する場合は、検診実施の可否について検診医が判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない者 ➤ 呼吸不全のある者 ➤ 狭心症や重篤な不整脈などの心疾患のある者 ➤ 明らかな出血傾向またはその疑いのある者 ➤ 収縮期血圧が極めて高い者。※4 ➤ 全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断される者。 <p>※4 高血圧治療中の場合、検査直前に血圧を測り検査の可否を判断する。降圧剤処置後に胃内視鏡検査を行うことは可能だが、急激に血圧を降下させることはリスクを伴う。</p>
検診料 (自己負担金)	<p>2,000 円 ※生検を実施した場合は、保険診療での請求となります。</p> <p>以下に該当の場合は無料</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 満 65 歳以上 ➤ 生活保護・市民税非課税世帯（保健センターに事前申請し、受診券を持参した方） ➤ 国民健康保険一部負担金助成証明書を持参した方
受診間隔	<p>2 年（1 月～12 月）に 1 回</p> <p>→12 月生まれのみ翌年の 1 月受診を可能とする。</p>

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

II 受付

受診申込み	<p>(1) 年齢、生年月日で当該年の対象者が確認する</p> <p>(2) 健康保険証、その他医療受給証の確認を行う。(必要時は生検を実施するため)</p> <p>(3) 受診票の表紙「吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）をお受けになる皆さんへ」に沿って、検診の内容について説明する。</p> <p>(4) 受診対象であり、検診受診の了承がとれた場合、受診票を交付する。 あらかじめ、受診票（複写 1 枚目:一次検診医療機関控、2 枚目:保健センター提出用、4 枚目:結果説明用）に医療機関のゴム印を押印し、受診日を記入する。</p> <p>(5) 受診者に氏名・フリガナ・生年月日・性別・住所・電話番号・問診項目を記入してもらう。</p> <p>(6) バーコードシールは、受診票の複写 1 枚目（医療機関控え）と受け渡し簿に貼付する。</p>
--------------	--

III 事前説明

問診	<p>●受診票問診項目の確認</p> <p>問診票の回答内容を確認し、検診の適応となるか、除外者に該当しないかを判断する。 お薬手帳を持参している場合は、服薬内容を合わせて確認する。</p> <p>●同意書の作成</p> <p>「吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）同意書」を使用し、以下必要事項を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 胃がん検診の方法は胃部エックス線と内視鏡検査があること。➢ 内視鏡検査の方法、利益と不利益について。➢ 胃内視鏡検査の偶発症には、まれに、穿孔、薬剤によるアレルギーなどがあること。➢ 腫瘍病変が認められた場合、必要時には生検を行うこと。➢ 検査によって起こる偶発症内容と対処法について。
-----------	--

IV 検査前説明

検査前説明	<p>(1) 検査前の絶食時間（検査予定 12 時間前）について説明する。</p> <p>(2) 絶食時間と内服薬については、受診票の表紙「吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）をお受けになる皆さんへ」の裏面に必要事項を記入して受診者に手渡す。当日内服が必要な薬については、薬剤名と内服時間について説明する。</p> <p>(3) 検査当日は禁煙とする。</p> <p>(4) 国民健康保険の方や、それ以外の市民税非課税世帯もしくは、生活保護世帯の場合は、保険料が免除になる事を伝え、手続きがまだの場合は、所定の手続きを取るように伝える。</p>
--------------	--

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

V 検査実施

胃内視鏡検査	<p>(1) 検査当日には、絶食時間と内服薬（必要時のみ）服用時間の確認を行う</p> <p>(2) 高血圧で治療中の場合は、血圧測定を実施し、実施の可否を判断する。</p> <p>●検査の実施内容は、「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」を参照する。</p> <p>【検査医の資格条件】</p> <p>〔 ①日本消化器がん検診学会認定医 ②日本消化器内視鏡学会専門医 ③日本消化器病学会専門医 のいずれかの資格を有する医師とする。〕</p> <p>(3) 生検の実施</p> <p>生検は腫瘍性病変が想定され、主治医が必要と判断した場合にのみ行う。検診での生検は、必要最小限とする。生検の実施は、保険診療扱いとなる。</p> <p>(4) 検査後の説明</p> <ul style="list-style-type: none">・検査終了後に検査の概要、生検の有無について受診者に説明を行う。また、二次読影の結果も踏まえて最終的な総合判定をするため、後日改めて判定結果を説明することを伝える。最終判定は、二次読影終了後で約4週間後になることを説明する。・検査後の飲食や日常生活の注意点について伝える。 <p>※<u>胃がん又は胃がんの疑いが強い場合は、二次読影の結果を待たず速やかに精密検査の実施、もしくは他院へ紹介する。</u></p>
--------	--

VI 一次読影

一次判定	<p>●検査医が一次読影を実施する。</p> <p>1. 受診票の記載内容</p> <p>(1) 読影日と読影医のサインを記入する。</p> <p>(2) 所見内容</p> <p>胃部の所見や、胃部以外の所見があれば（食道がんなど）記載する。必要時には、判定の根拠や診断名も記載する。</p> <p>(3) 判定内容</p> <p>以下のA～Cに該当する項目を選択する。</p> <p>〔 A. 胃がんなし：所見ありの場合は、所見欄に内容を記載する。 B. 胃がん疑う所見あり：部位番号を記載する。 C. 胃がん以外の悪性疾患またはその疑い：部位を記載する。〕</p> <p>【例】びらん性胃炎 ⇒ A. 胃がんなし 念のため生検 ⇒ B. 胃がん疑い 胃潰瘍（生検あり）⇒ B. 胃がん疑い 胃潰瘍（生検なし）⇒ A. 胃がんなし</p> <p>※<u>胃がん又は胃がんの疑いが強い場合は、即精密検査の実施及び紹介となり、一次読影時に総合判定と指示を記入し、結果説明を行う。その場合も、二次読影を行うため、受診票と画像を医師会へ提出する。</u></p>
------	---

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

	<p>(4) 生検 生検実施の有無について記載する。生検を実施した場合は、部位を記載し、所見欄に詳細内容を記載する。生検の結果は待たずに、医師会に吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）受診票と検査画像データを迅速に提出する。</p> <p>(5) コメント 特記事項等、読影医への申し送り内容を記載する。</p> <p>2. 受診票・画像の提出 阪大微研の回収は週2回。一次読影終了後、速やかに受診票・画像データを提出する。生検を実施した場合は、結果が出ていなくても速やかに提出する。</p>
--	--

Ⅶ 二次読影

<p>二次読影</p>	<p>●読影医の条件を満たす医師が、二次読影を実施する。 ※二次読影医は提出された画像のみで判定を行う。</p> <p>【読影医の資格条件】</p> <p style="text-align: center;"> { ①日本消化器がん検診学会認定医 ②日本消化器内視鏡学会専門医 } どちらかの資格を有する医師とする。 </p> <p>(1) 読影日と読影医のサインを記入する。</p> <p>(2) 所見内容 胃部の所見や、胃部以外の所見があれば記載する。必要時には、判定の根拠や診断名も記載する。</p> <p>(3) 判定内容 二次読影の判定内容は、胃がんを疑う所見があるかないかを判定する。加えて、胃がんを疑う所見があった場合は、生検の実施状況によって、2～4までの判定を行う。生検を実施している場合で、胃がんを疑う所見がある場合は、該当部位が、生検実施部位かそれ以外かを選択し、判定する。胃がん以外の悪性疾患またはその疑いがある場合は、5を選択し、詳細な所見については、所見欄に記載する。</p> <p style="text-align: center;"> { 1. 胃がんを疑う所見なし 2. 当日生検なし、胃がんを疑う所見あり：部位番号を記載 3. 当日生検あり、生検部位に胃がんを疑う所見あり：部位番号を記載 4. 当日生検あり、生検部位以外に胃がんを疑う所見あり：部位番号を記載 5. 胃がん以外の悪性疾患またはその疑い 6. 撮影部位が不足しており、判定不能 } </p> <p>(4) コメント 判定の根拠や診断名、1次読影医（検診医）への申し送り内容等を記載する。</p> <p>※読影は、一週間以内に行い、阪大微研にて吹田市医師会へ返送する。</p>
--------------------	--

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

Ⅷ 総合判定

総合判定	<ul style="list-style-type: none">●総合判定は、原則検診医が望ましい。 生検の結果を記載する。一次読影と二次読影判定が異なる場合は、判定の重い方を優先する。 <p>【例】一次判定：胃がんなし、二次判定：胃がん疑う所見があり ⇒ 総合判定 3</p> <p>(1) 読影日と判定医のサインを記入する。</p> <p>(2) 判定内容 下記 1~4 に該当する項目を選択する。生検を実施した場合は、組織診の結果と合わせて判定を行う。</p> <table border="1" data-bbox="411 633 1358 815"><tr><td>1. 異常なし</td></tr><tr><td>2. 胃がん以外の良性疾患</td></tr><tr><td>3. 胃がんまたは胃がん疑い</td></tr><tr><td>4. 胃がん以外の悪性疾患または疑い</td></tr></table> <p>(3) 指示内容 総合判定の内容に基づき、検査や治療の必要性について判断し、記入する。</p> <p>(4) 生検実施の場合 生検を実施した場合は、要精密検査者としての取り扱いとなるため、「精密検査依頼書兼結果報告書」を作成する。</p>	1. 異常なし	2. 胃がん以外の良性疾患	3. 胃がんまたは胃がん疑い	4. 胃がん以外の悪性疾患または疑い
1. 異常なし					
2. 胃がん以外の良性疾患					
3. 胃がんまたは胃がん疑い					
4. 胃がん以外の悪性疾患または疑い					

Ⅸ 結果説明

結果説明	<ul style="list-style-type: none">●結果の説明は、受診者へ対面にて行う。受診者には、一次読影判定及び二次読影判定による総合判定に基づき、総合判定の内容（必要時は生検の結果）、再検査や治療の必要性等今後の方向性について説明する。結果説明後に、受診票に医師・受診者本人がそれぞれ署名する（自署）。医療機関名はゴム印でも可とする。受診票の結果説明用（複写 4 枚目）を本人へ手渡す。 <p>【要精検査者】（総合判定 3、または、生検を実施した場合）</p> <p>精密検査・治療の受診勧奨を行う。他院に紹介する場合は、精密検査依頼書（必要時は診療情報提供書添付）を作成し、保健センター宛の返信用封筒を同封して受診者に手渡す。受診先が決まれば、受診票の「紹介先病院」に記入し、必要に応じて、医療機関の予約を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">●要精密検査者 必要書類 <table border="1" data-bbox="432 1753 1283 1834"><tr><td>(1) 精密検査依頼書（必要時、診療情報提供書）</td></tr><tr><td>(2) 保健センター宛の返信用封筒</td></tr></table> <p>紹介先病院受診の際は、上記書類同封の封筒一式と健康保険証、その他医療受給者証を必ず持参するように説明する。</p> <p>※精密検査依頼書（必要時、診療情報提供書添付）作成までが検診の委託内容になり、保険請求はできませんのでご注意ください。</p>	(1) 精密検査依頼書（必要時、診療情報提供書）	(2) 保健センター宛の返信用封筒
(1) 精密検査依頼書（必要時、診療情報提供書）			
(2) 保健センター宛の返信用封筒			

吹田市胃がん検診（胃内視鏡検査）の流れ

	<p>【精検不要者】</p> <p>今後、気になる症状があれば、早急に医療機関を受診するように指導し、今後も定期的な胃がん検診の受診を勧奨する。</p> <p>※翌年は吹田市胃がん検診を受けられないことを伝える。</p> <p>【結果を聞きに来ない方の取り扱い】</p> <p>結果を聞きに来院されない方は、医療機関が電話等で来院を勧奨してください。特に、要精密検査者については、早期の受診が必要なため、すみやかに結果通知を行ってください。本人に連絡が取れない場合など、特別な事由が生じた場合は、対応について保健センターへ連絡ください。</p>
--	--

X 受診票の提出

医師会へ提出	受診票の2、3枚目（保健センター提出用、パンチ入力票）と実施報告書を作成し、翌月10日までに医師会へ提出する。（遅くとも2か月以内）
---------------	--

保健センターの精度管理業務

1. 精密検査未受診者への受診勧奨
精密検査実施医療機関から結果通知書が返送されていない方に対し、精密検査受診勧奨文書を発送する。
2. 精密検査実施医療機関への精検結果照会
結果不明者、がんと診断された者について、後日結果の詳細について照会する。
3. 大阪府・国への胃がん検診実績（受診者数、要精密検査者数、がん発見者数等）の報告